

令和 8 年 9 月

伊東市議会 9 月定例会

一 般 質 問 要 旨

伊 東 市 議 会

一般質問順序

- | | | |
|----|--------|-----------------------|
| 1 | 大川勝弘君 | (9月10日(木) 10時～10時50分) |
| 2 | 鈴木絢子君 | (9月10日(木) 11時～11時50分) |
| 3 | 虫明弘雄君 | (9月10日(木) 13時～13時50分) |
| 4 | 河島紀美恵君 | (9月10日(木) 14時～14時50分) |
| 5 | 長沢正君 | (9月10日(木) 15時～15時50分) |
| 6 | 犬飼このり君 | (9月11日(金) 10時～10時50分) |
| 7 | 大竹圭君 | (9月11日(金) 11時～11時50分) |
| 8 | 篠原峰子君 | (9月11日(金) 13時～13時50分) |
| 9 | 四宮和彦君 | (9月11日(金) 14時～14時50分) |
| 10 | 片桐基至君 | (9月11日(金) 15時～15時50分) |
| 11 | 重岡秀子君 | (9月14日(月) 10時～10時50分) |

※ 質問時間は、進行状況によって変更することがあります。

一 般 質 問 要 旨

議 員 大 川 勝 弘

1 本市のドローン活用の普及・拡大に関する取組について、以下3点伺う。

(1) 専門的な技術や最新機材を有する民間事業者との協定締結など、官民連携の取組状況について伺う。

(2) ドローンの資格取得に向けて安全に飛行訓練を行える環境を確保するため、公園などの市有地を飛行訓練場所として開放する考えについて伺う。

(3) 本年度のドローン撮影及び活用事例について伺う。

2 観光施策について、以下4点伺う。

(1) 第80回按針祭海の花火大会について、以下3点伺う。

ア 来場者数について

イ 地域経済への効果について

ウ 課題について

(2) オレンジビーチを安心・安全に利用するため、現在どのような維持管理が行われているか伺う。

(3) 観光トイレの今後の整備計画について伺う。

(4) 夏季に開催されたイベントにおけるビックデータの活用状況について伺う。

3 伊東駅周辺地区整備事業の進捗状況について、以下3点伺う。

(1) 伊東駅前広場整備に係る今後のスケジュールについて伺う。

(2) 避難経路の確保や伊東駅の東西を結ぶ連絡通路の検討について伺う。

(3) 伊東駅前広場整備に伴う建築物の高さにおける規制の見直しについて考えを伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 鈴 木 絢 子

1 大規模災害時の避難所の運営について、以下4点伺う。

- (1) 伊東市避難所運営マニュアルでは、避難所は避難者による自主運営を基本としているが、自主防災組織等の地域住民に対し、その方針及び具体的な運営方法をどのように共有しているか伺う。
- (2) 避難所の開設及び運営について、市、自主防災組織及び施設管理者等の役割分担や運営主体をどのように想定しているか伺う。
- (3) 地域が主体となった避難所運営を行えるよう、平時からどのような体制づくりや訓練を行っているか伺う。
- (4) 自主防災組織等による自主運営を基本としながらも、地域によって組織体制や担い手の状況は異なるが、各地域の避難所運営体制の現状をどのように把握し、どのような支援を行う考えか伺う。

2 北中学校閉校に向けた進捗状況及び今後のスケジュールについて、以下5点伺う。

- (1) これまでに協議の上決定された事項、今後の協議内容及びスケジュールについて伺うとともに、地域協議会の進捗状況を伺う。
- (2) 閉校後、生徒が新たな学校生活へ円滑に移行できるよう、就学先となる学校との間でどのような交流を行う予定か伺う。

(3) 就学先変更後の生徒の通学手段及び通学に係る負担について伺う。

(4) 閉校や就学先変更に伴う環境の変化、友人関係の変化等による生徒の不安や心理的負担に対し、どのような支援やケアを行う考えか伺う。

(5) 閉校に伴う通学区域の変更について、今後どのように示されていくのか伺う。

3 中学校部活動の合同化及び地域展開について、以下3点伺う。

(1) 令和9年度からの新たな体制について、以下3点伺う。

ア 令和9年度から中学校部活動の合同化及び地域展開の実施を予定しているが、現在想定している全体像及び今後のスケジュールについて伺う。

イ 「伊東市部活動」として実施することが見込まれる競技・文化活動を伺うとともに、その運営主体、指導体制及び活動拠点はどのように想定されるか伺う。

ウ 現在、合同部活動を実施する中での課題を伺うとともに、どのように検証し、今後に反映していく考えか伺う。

(2) 認定地域クラブ活動について、以下2点伺う。

ア 国が示す認定地域クラブ活動として、市が地域クラブ活動を認定するための体制整備について、現在の進捗状況を伺う。

イ 認定地域クラブ活動の認定基準及び認定方法について伺うとともに、認定地域クラブ活動に対しどのような支援を行う考えか伺う。

(3) 生徒及び保護者の声を反映した制度設計について、以下2点伺う。

ア 生徒及び保護者に対し、これまでにどのような説明や意見聴取を行っているか伺う。

イ 生徒及び保護者が十分な情報を得た上での選択が重要であるが、活動内容、活動場所、移動手段及び費用負担等を含めた具体的な方針について、いつまでに示す考えか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 虫 明 弘 雄

1 本市の空き家状況について、以下2点伺う。

(1) 本市の空き家戸数及びその調査方法について伺う。

(2) 認定している特定空家件数について伺う。

2 スポーツ振興に関する取組について、以下3点伺う。

(1) スポーツ振興に向けた本市の計画及び目標について伺う。

(2) スポーツ施設の環境整備について伺う。

(3) スポーツイベント等の誘致や合宿などの受入れに対する本市の考えについて伺う。

3 指定避難場所である体育館に移動式エアコンを導入している例もあり、暑さ対策だけではなく寒い時期も含めて年間を通した空調整備が必要と考えるが、いかがか。

4 第80回按針祭海の花火大会について、以下4点伺う。

(1) 来場者数及び地域経済への効果について伺う。

(2) 安全管理体制及び救護体制について伺う。

(3) 道路及び公共交通機関の混雑状況を伺うとともに、事前にどのような対策を講じていたか伺う。

(4) 通信障害対策として、移動式基地局を設置してはいかがか伺う。

5 地域で開催されている花火大会への支援について、以下2点伺う。

(1) さらに対外的な認知度を高めるために、市の広報ツールを活用して広くPRできないか伺う。

(2) 持続可能な花火大会に向けて、経済的な支援が必要と考えることから、補助金の増額等ができないか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 河 島 紀美恵

1 令和８年２月の積雪により、長時間の渋滞が発生するなど、市民や観光客の移動に大きな影響が生じたことから、災害時の交通状況を即座に把握し、市民への情報提供や関係機関との連携を強化するための本市の取組について、以下２点伺う。

(1) 道路状況の把握方法について

(2) 情報発信の方法について

2 第８０回桜針祭海の花火大会について、以下４点伺う。

(1) 地域経済への効果及び市の費用負担のバランスについて

(2) 道路及び公共交通機関の混雑状況並びに今回の対策について

(3) 無断駐車及び騒音等による市民生活への影響について

(4) 花火の一部が落下したことによる負傷事故の発生状況及び検証体制について

3 高知県及び群馬県では、県内の周遊促進を図るためのパスポート制度を導入して、地域全体で誘客に取り組んでいるが、現在、静岡県では導入されていない。本市が県に先行して、市内の観光周遊を促進するパスポート制度を導入することについて、見解を伺う。

4 伊東駅前広場整備計画について、以下2点伺う。

(1) JR東日本が伊東駅駅舎の時計を撤去したことについて、観光客や高齢者などから利便性の低下や再設置を望む意見が多く寄せられているため、伊東駅前広場整備とあわせて、シンボリックな存在となる新たな時計の設置に関して、本市の見解を伺う。

(2) バイクツーリングに本市を訪れる方も多いが、伊東駅周辺地域では、自動二輪車を駐車できる場所の確保が難しい状況にあり、休憩や飲食店等に立ち寄りにくいとの声が寄せられている。本市がバイクツーリズムを楽しめる観光地として選ばれるため、同計画で自動二輪車の駐車場所を整備することについて、本市の見解を伺う。

5 地域住民が主体となって定期的に集まり、体操や交流、趣味の活動を通じて、心身機能の維持・向上と社会参加を促し、介護予防や孤立防止につなげる地域の活動の場である「居場所」が、令和8年4月から「通いの場」になったが、現状の取組について伺う。

6 子育て支援について、以下2点伺う。

(1) 他の自治体では、家庭児童相談室の改称を行うことで、軽度の悩みでも相談ができ、虐待リスクの早期把握や家庭環境の改善につながる事例がある。市民からも名称変更の要望を聞くことから、子育て相談に関する間口を広げ、早期の相談を促し、支援体制の強化にもつながると考え、親しみやすい名称への変更について、本市の見解を伺う。

(2) 教育支援センターや民間経営のフリースクールに通うための交通費が、家計への大きな負担になるとの声を伺うことから、交通費補助制度について、考えを伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 長 沢 正

1 災害時における受援体制について、以下5点伺う。

(1) 人的応援の受入れに関する受援計画を策定する考えがあるか伺うとともに、策定する場合の時期及び対象業務を伺う。

(2) 避難所運営、住宅被害認定調査、罹災証明書交付及び被災者支援・相談業務などについて、災害時に必要となる人員及び不足が見込まれる人員を事前に算定しているか伺う。

(3) 人的応援を要請するに当たり、判断基準、責任者及び県や協定自治体への要請ルートは確立しているか伺う。

(4) 応援職員の受入れを統括する体制、執務場所、通信環境、宿泊場所、各部署への配置方法及び指揮命令系統は整備されているか伺う。

(5) 受援計画に基づく全庁的な訓練は予定しているか伺う。

2 災害時における避難所等の通信確保について、以下2点伺う。

(1) 大規模災害発生時に避難所等で通信を確保するため、指定避難所等への衛星インターネット機器などの新技術の導入が望まれるが、最先端機器を迅速に取り入れ、地域自らが継続的な運営を行えるよう、地域ごとに無線従事者免許所持者等を配置する体制整備を行い、発災時に、通信設備の被災状況把握や通信環境確保などを迅速かつ継続的に行う取組を検討すべきと考えるが、見解を伺う。

(2) 外国人旅行者が増えている中、インターネットから情報収集を行うことが多い外国人旅行者に対して、通信確保の優先度を上げた対応が必要であると考え、見解を伺う。

3 医療的ケア児支援法の改正を踏まえた切れ目のない地域支援体制の構築について、見解を伺う。

4 新型コロナワクチン定期接種について、以下3点伺う。

(1) 定期接種の現状及び住民への周知について

(2) 医療機関との連携状況について

(3) 自己負担軽減や低所得者支援に対する考えについて

一 般 質 問 要 旨

議 員 犬 飼 このり

1 訪問介護及び居宅介護の現状及び人材確保について、以下2点伺う。

(1) 高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で生活を継続するために必要な訪問介護や居宅介護について、本市における利用ニーズと事業所の需給バランスをどのように把握しているか伺う。

(2) 高齢化が進展する中、現在介護をしている方も将来的に介護を受ける立場になる可能性があることから、本市における介護支援人材の確保について、考えを伺う。

2 外国人市民への支援体制及び行政の役割について、以下3点伺う。

(1) 本市における外国人市民が約1,400人となり、人口の2%を超える中、外国人市民が生活上の困り感を抱えた際に、行政として総合的に相談を受け、必要な支援につなげる窓口や体制が整備されているか伺う。

(2) 外国人市民からの相談や生活支援において、伊東国際交流協会が担っている役割と、市が直接担うべき役割をどのように整理しているか伺うとともに、現在の連携状況及び役割分担の課題について、どのように考えているか伺う。

(3) 外国人市民への行政サービスをより充実させるため、多文化共生を担う専門的な人材を行政に配置する必要があると考えるが、公権力の行使を伴わない職務に外国籍人材を市職員として配置することについて、本市の考えを伺う。

3 災害時の体制について、以下3点伺う。

- (1) 災害時の支援体制を強化するため、本市が事業者や他自治体等と締結している災害協定の現状を伺うとともに、実効性をどのように確保しているか伺う。
- (2) 大規模災害に備え、行政による公助だけでなく、市民一人一人の自助や地域における共助の力を高めるため、平時から市としてどのような取り組みを進めることができるか、考えを伺う。
- (3) 高齢者、障がい者及び外国人市民など、災害時の情報取得や避難行動に困難を抱えるおそれのある市民について、平時からどのように把握し、支援につなげる体制を構築しているか伺うとともに、地域や関係機関との連携をどのように進めていくか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 大 竹 圭

1 伊東市民病院指定管理者による管理に関する協定書（以下「協定」という。）等に基づき本市が交付する交付金及び権限の行使について、以下4点伺う。

(1) 協定第25条に定める各交付金について、それぞれの算定根拠を伺う。また、算定に係る資料を市民に示す考えがあるか伺う。

(2) 過去5年間の各交付金の返還実績を伺う。また、目的が達成されなかった場合の精算または返還に関する定めを設ける考えがあるか伺う。

(3) 協定第23条に基づく改善の勧告について、判断基準及び実績を伺う。

(4) 協定第41条に規定する管理運営協議会及び伊東市民病院経営強化プランの点検評価について、外部有識者等の第三者の関与を求める考えがあるか伺う。

2 道路等の除草について、以下3点伺う。

(1) 除草に要する経費の年間支出額及び過去5年間の推移を伺う。

(2) 毎年経常的に行っている除草作業の費用を減らし、長期的に効果のある防草対策へ転換していく考えがあるか伺う。

(3) 民有地の樹木の枯損または草木の繁茂が通行の安全に支障を来している実態の把握状況を伺う。また、市が予防的に措置を講じる考えがあるか伺う。

3 小・中学校の施設及び敷地の維持管理について、以下2点伺う。

(1) 樹木の剪定、除草等の管理について、学校ごとの年間管理計画の策定状況を伺うとともに、学校からの要望や現地の状況の把握方法及び実施決定の基準に関して、どのように運用されているのか伺う。

(2) 小・中学校から提出される修繕等の要望について、把握・整理方法及び優先順位の決定基準を伺うとともに、未実施分への対応と今後の計画的な維持管理の取組を伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 篠 原 峰 子

- 1 県内自治体において補聴器購入費助成制度の導入が進んでいることを踏まえ、本市における制度導入の有効性や課題について伺うとともに、制度を検討する場合には、医師による診断、専門的な補聴器の選択・調整、購入後の装用支援及び効果検証までを一体的に行う仕組みとすることが必要と考えるが、本市の見解を伺う。

- 2 今年度から伊東市学校給食代替対応補助金制度が創設され、食物アレルギーのため給食の提供を受けることができず、弁当を持参する児童・生徒の家庭を経済的に支援するため、その保護者に対し助成金を交付する補助事業を実施しているが、不登校の児童・生徒の家庭にも同様に補助すべきと考えることから、本市の見解を伺う。

- 3 本年2月の雪害及び断水への対応について、3月25日に開催された意見交換会では様々な課題が挙げられたが、それらをどのように整理・検証し、その後の改善につなげているか、以下3点伺う。
 - (1) 宇佐美小学校では約400人が一晩を過ごしたが、意見交換会では避難所の寒さや雪害対応の備蓄不足が課題として挙げられた。この経験を踏まえ、季節によらず避難者が安心して夜を越せる避難所環境を確保するため、どのような改善を進める考えか伺う。

(2) 災害時における観光客等の帰宅困難者への対応について、駅等における避難者への対応や、観光協会、伊東温泉旅館ホテル協同組合及び伊豆高原観光オフィス等との情報連携による宿泊施設の紹介・マッチングなど、マニュアル化も含めた体制整備の必要性が示された。また、観光客に対する情報を一元的に発信する体制整備の必要性についても述べられていたが、その後の検討状況を伺う。

(3) 断水に関する対応のひとつとして、本年6月定例会では条例改正も行われたが、意見交換会において挙げたその他の意見も踏まえ、現在実施している対策及び今後検討予定の対策について伺う。

4 本市の防災・減災対策に関し、令和6年の能登半島地震を受け、同年4月に公明党派として「防災減災対策の推進を求める要望書」を提出したが、以下の4点について、その後の検討状況を伺う。

(1) トイレトレーラー及び移動式ランドリーの配備について

(2) 女性の視点を活かした避難所運営について、以下3点伺う。

ア 女性スタッフの配置について

イ 備蓄品の選定に女性の視点を活かした避難所環境整備について

ウ 母子避難所の設置について

(3) ペットの災害対策について、以下4点伺う。

ア 避難所ペットスペース設営ボックスの配備について

イ 運営マニュアルの作成について

ウ 同行避難訓練の推進について

エ 伊東市総合防災ガイドブックへの掲載について

(4) 防災を踏まえた大型船舶が係留可能な港湾建設の推進について

一 般 質 問 要 旨

議 員 四 宮 和 彦

学校施設の安全管理と施設整備について、以下２点伺う。

1 学校施設の防火管理体制について、以下４点伺う。

(1) 市内学校施設については、築年数が４０年を超えるものも少なくないが、防火設備等の更新は進められているのか伺うとともに、そうした設備・器具の使用に関して、職員が習熟するための機会は十分に確保されているのか伺う。

(2) 学校施設の防火管理者は誰が務めるのか伺う。

(3) 学校体育施設等は、既に閉校・閉園した施設も含めて学校開放事業の対象となっているが、その際の安全管理について伺う。

(4) 学校教職員は、防火や防災の専門家ではなく、施設の安全管理についてまで、その責任を負うことは負担が大きすぎると考えるが、学校施設の安全管理に係る専門職員を配置する考えはないか伺う。

2 学校体育施設や運動場は、本市の指定避難所・指定緊急避難場所となっている場合がほとんどであるにもかかわらず、空調設備の整備に関しては、現在、伊東小学校及び宇佐美中学校への先行整備以外は明確には決まっていないと思われるが、今後の空調設備の整備の進め方について、以下2点伺う。

(1) 今後、統廃合の対象となる可能性が高い学校体育施設への空調設備の整備に係る考え方を伺うとともに、一部市民団体等からも、移動式スポットクーラーの導入を求める要望などが届いていることに関し、こうした提案について、どのように受け止めているのか伺う。

(2) 既に閉校した旧西小学校、旧川奈小学校、旧県立伊東高校城ヶ崎分校及び令和9年3月末に閉校が決定している北中学校は、指定避難所になっているが、これら施設の管理をどのように行っているのか伺うとともに、今後の施設の維持管理方法について伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 片 桐 基 至

- 1 本年の按針祭海の花火大会では、第80回記念として約2万発の花火が打ち上がり、多くの感動を与えた一方で、やけどの被害を受けた方もいた。今後、安全に実施するために、どのような改善策を検討しているか伺う。

- 2 伊東駅前広場整備について、以下3点伺う。
 - (1) 交通結節機能や安全性・利便性の向上に加え、市民や観光客が市内を散策し交流することで、日常的なにぎわいが生まれる公共空間づくりが必要と考えるが、どのような整備をしていくか伺う。

 - (2) 伊東駅前広場を中心市街地への回遊起点と位置づけ、商店街や海岸方面へ人の流れを生み出すことが重要と考えるが、考えを伺う。

 - (3) 現在、伊東駅改札口前に植栽されているカナリヤシについて、その景観的、歴史的、観光的な価値をどのように評価し、今後の伊東駅前広場整備においてどのような位置づけをしていくか、考えを伺う。

3 現在、小室山周辺をはじめ、市内において松枯れが急速に進行し、景観が大きく変化している。松林の保全を行うに当たり、予防的な取組が重要であると考えているが、どのような対策を行っているか伺う。

4 民間事業者が経営する貸別荘において、夜間の騒音やルールを無視したごみの排出、悪臭などについて、地域住民から苦情の声が挙がっているが、現状をどのように把握し対応しているか伺うとともに、今後の対応方針について伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 重 岡 秀 子

- 1 放課後児童クラブの運営の現状と課題について、以下4点伺う。
 - (1) 本市の放課後児童クラブは保護者中心で活動が開始されたが、特に子ども・子育て支援法の施行以来、国としての制度が整備され、各クラブの運営主体も様々な形態へ変化していることから、その現状を伺うとともに、今後の運営主体に関する課題を伺う。
 - (2) 2015年の放課後児童クラブの制度改正により、運営面ではどのような改善がされたか伺う。また、保護者負担や支援員の処遇は、どのように改善されたか伺うとともに、今後の課題を伺う。
 - (3) 子供たちが安心して過ごすことができ、より豊かな成長の場として活動の向上を図るため、支援員の研修やクラブ間での交流が重要と考えるが、その現状と課題を伺う。
 - (4) 現在、様々な団体に運営を委託しているが、本来の実施主体は地方自治体であることから、支援員や保護者等からの相談や意見については、必要に応じて運営主体とともに対応すべきと考えるが、いかがか。また、運営費決算については、必要に応じて監査を実施すべきと考えるが、いかがか。
- 2 猛暑が続く中、市民の日常生活にとってエアコンは命と健康を守る必需品と考えることから、高齢者や障がい者を含んだ非課税世帯などでエアコンを所有していない世帯に対して、設置のための補助制度を創設すべきと考えるが、いかがか。